



報道関係 各位

平成 25 年 3 月 18 日

国立大学法人お茶の水女子大学

キューピー株式会社の支援による“お茶の水女子大学寄附研究部門” 「食と健康」を開設します

この度、お茶の水女子大学では、キューピー株式会社の支援を受け、平成 25 年 4 月 1 日から寄附研究部門「食と健康」を開設します。

本寄附研究部門では、食の役割・機能について、基礎研究から、人へ応用を目指した発展型の研究まで行い、食の重要性を広く発信する拠点になることを目指します。生活習慣病の予防に寄与する食品成分の探索と作用機構について研究し、世界に向けて発表するとともに、研究成果に基づいた健康食スタイルを提案し、公開講座などを通じて情報発信を行い、社会に還元していく予定です。

< 寄附研究部門の概要 >

1. 部門名 食と健康
2. 設置場所 お茶の水女子大学 生活環境教育研究センター
3. 設置期間 平成 25 年 4 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日（2 年間）
ただし、キューピー株式会社と協議のうえ延長することがあります。
4. 運営体制 寄附研究部門「食と健康」は、お茶の水女子大学の役員会直属の産学官連携推進組織であるお茶大アカデミック・プロダクションに属し、本学の生活環境教育研究センター長の近藤和雄教授の主導で、2 名の専任教員を中心に研究を推進します。

専任教員： 岸本 良美 寄附研究部門准教授

同 田口 千恵 寄附研究部門助教

兼任教員： 近藤 和雄 教授（生活環境教育研究センター長）

（取材に関するお問合せ）

国立大学法人お茶の水女子大学

東京都文京区大塚 2-1-1（〒112-8610）

広報チーム 担当：富山（とみやま）

Tel : 03-5978-5104, 5105 Fax : 03-5978-5545

Mail : info@cc.ocha.ac.jp

※ 本報道発表は、3 月 18 日（月）午前 11 時にキューピー株式会社と同時発表となります。

<補 足 説 明>

1. 寄附研究部門設立の目的

お茶の水女子大学は、生活科学部食物栄養学科と生活環境教育研究センターを中心に、栄養学・食品科学研究の発展に尽力してきました。

この度、本学に新設される寄附研究部門においては、人の健康の根幹を担う『食』の役割・機能について、基礎研究から人への応用を目指した発展型の研究まで総括的に実施し、食の重要性を広く発信することを目標に掲げています。健康の維持増進、疾病の予防、健康寿命の延長、医療費の削減といった大きな課題に対して、食の果たしうる役割は非常に大きく、特に日本は世界に誇る健康的な食生活スタイル、食文化を有しています。生活習慣病の予防に寄与する食品成分の探索と作用機構解析を行い、人の視点から科学的に評価することでエビデンスを蓄積し、世界に向けて発表するとともに、研究成果に基づいた健康食スタイルを提案し、公開講座などを通じて情報発信を行い、社会に還元します。

2. 寄附研究部門の運営体制

寄附研究部門「食と健康」は、お茶大アカデミック・プロダクションに属し、本学の生活環境教育研究センター長の近藤和雄教授の主導で、2名の専任教員を中心に研究を推進します。

生活環境教育研究センターは、昭和34年に文部省令第6号によって設置された家政学部附属食物化学研究施設を前身とする伝統ある研究機関です。研究体制としては、「食環境制御と健康部門」、「食生活素材バイオ部門」、「SHOKUIKU 総合研究部門」を柱に、外部資金の獲得や共同研究を活発に行っています。食に関する研究は、産業との関わりが深く、研究シーズの発見、素材の開発、消費者への成果の還元といった部分では、企業との連携なくしては困難です。産学連携は国立大学法人の重要な役割として位置づけており、今回新たに寄附研究部門を設置することで、産学連携ならびに社会への発信をより強力に推進することが可能になります。

(最終頁)